

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	38	事業名	母子保健事業	担当部課	福祉部健康推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	5 横断的な事務の推進(連携改善)		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	母子保健法、第2期長久手市子ども子育て支援事業計画	4-1-4 母子保健費	
	事業開始の背景、経緯等	法律に基づき、昭和34年から事業を開始			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 妊産婦及び乳幼児の健康保持を図る。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 妊産婦・乳幼児とその家族
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 妊産婦の健康増進と乳幼児期の健全な発育

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	
			事業費(A)	千円	予算	125,072	116,927	124,494
			決算	109,710	107,024	108,739	117,340	
人件費(B)	千円	決算	23,927	27,156	31,929	41,599		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	133,637	134,180	140,668	158,939		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		20,049	20,049	20,049	20,049	20,049	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		7	7	7	7		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			まちの保健師(児童館等)実施回数	回	目標	85	89
		実績	85	81	34	41	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
まちの保健師実施回数が相談しやすい環境を作ることにつながるため			児童館等で行う予定の実施回数とした。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 児童館等32回、子育てサロン9回 目標を下回った理由:コロナ感染防止対策のため行事が中止となったため
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 児童館の他に、市民主催の子育てサロンに参加し、保健センターの相談業務を周知することができた。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) コロナ感染症対策を図りながら、まちの保健師活動を継続して実施する。継続支援が必要なケースは、関係機関と情報共有を行う。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	母子保健事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】母子保健コーディネーターの相談件数	件	見込	802	795	786	740	740
			実績	933				
	(2) 母子保健コーディネーターの配置	人	見込	3	3	3	3	3
			実績	3				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 妊娠前から出産・育児まで関係部署と連携し、切れ目ない支援を行う。妊娠届出スクリーニング640件、個別支援プラン作成7件、個別相談236件、まちの保健師38件、予防連絡会12回								
						今後の方向性	改善・見直し	

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	産前産後サポーター派遣事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】 新規利用登録者数(単年)	人	見込	60	60	65	65	65
			実績	26				
	(2) 委託事業者数	か所	見込	4	4	4	4	4
			実績	4				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 妊娠中または出産後の体調不良等で身内の支援が受けられない妊産婦に家事、育児支援を行う。多胎妊産婦は、外出支援も行う。利用実人数26人、利用回数のべ363回								
						今後の方向性	改善・見直し	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③	/						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>								
						今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 相談支援体制の充実、関係機関との連携により切れ目ない支援体制の整備を図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 母子保健コーディネーターの配置、児童館での相談業務(アウトリーチ)を実施し、妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を実施する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・成果指標欄には、取組の実績ではなく、得られた成果を記入してください。特性要因図(魚の骨図)等を利用して事業の課題を深掘りし、その意図を反映する成果指標を設定してください。 ・中長期の目標は、時期を明確にしてください。
内部意見への回答	